

- 13) 関根道和：「健診後の健康生活—循環器疾患を中心として—」食生活改善推進委員会研修会，1999，9 小矢部市。
- 14) 関根道和：「骨粗鬆症とは」健康づくり栄養教室 1999，9 小矢部市。
- 15) 関根道和：「糖負荷試験とは」健康教育 1999，10 小矢部市。
- 16) 関根道和「高血圧を予防しよう」健康講座 1999，11 小矢部市。
- 17) 新村哲夫，田中朋子，西野治身，桑守豊美，劉仲玉，鏡森定信，畢力夫：中国・内モンゴル女性の血清セレン濃度と抗酸化機能について，富山県衛生研究所年報，22：158-162，1999。
- 18) 新村哲夫，西野治身，劉仲玉，鏡森定信，畢力夫：富山県衛生研究所年報，22：226-228，1999。
- 19) 保健医学教室，公衆衛生学教室編：社会医学実習報告書第19集，1999。

公 衆 衛 生 学

教 授	加 須 屋 實
助 教 授	寺 西 秀 豊
助 手	青 島 恵 子
助 手	加 藤 輝 隆

◆ 著 書

- 1) 加須屋實：水質汚染。「分子予防医学」松島綱治編，101-108，医学書院，東京，1999。
- 2) 加須屋實：日本におけるカドミウム汚染と人体影響 神通川流域：イタイイタイ病の疫学所見。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，14-20，栄光プリント，金沢，1999。
- 3) 加須屋實：イタイイタイ病を頂点とするカドミウムの人体影響に関する研究の将来展望。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，115-119，栄光プリント，金沢，1999。
- 4) 青島恵子：日本におけるカドミウム汚染と人体影響 神通川流域：イタイイタイ病の臨床所見。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，9-13，栄光プリント，金沢，1999。
- 5) Kasuya M.: Recent epidemiological studies on Itai-itai disease as a chronic cadmium poisoning in Japan, In Proceedings of the 3rd IWA Specialized Conference on Hazard Assessment and Control of Environmental Contaminants -ECOHAZARD '99-, Matsui S. (Ed.) 207-214, Research Center for Environmental Quality Control, Kyoto University, Otsu, 1999.
- 6) Kasuya M.: Environmental cadmium pollution and its health effects on inhabitants in Japan. Jinzu River basin: Itai-itai disease -Epidemiological findings, In Advances in the Prevention of Environmental Cadmium Pollution and Countermeasures, Nogawa K., Kurachi M., and Kasuya M. (Eds.), 20-26, Eiko Laboratory, Kanazawa, 1999.
- 7) Kasuya M.: Aspect of studies of cadmium on health effects, the climax with Itai-itai disease, In Advances in the Prevention of Environmental Cadmium Pollution and

Countermeasures, Nogawa K., Kurachi M., and Kasuya M. (Eds.), 143-147, Eiko Laboratory, Kanazawa, 1999.

- 8) Aoshima K.: Environmental cadmium pollution and its health effects on inhabitants in Japan. Jinzu River basin: Clinical findings in Itai-itai disease, In Advances in the Prevention of Environmental Cadmium Pollution and Countermeasures, Nogawa K., Kurachi M., and Kasuya M. (Eds.), 13-19, Eiko Laboratory, Kanazawa, 1999.
- 9) Shimmura R., Natzir R., and Teranishi H.: Study on specific IgE antibodies against bees and vespid venom in Asian populations. In Proceedings of XIII International Congress of Agricultural Medicine and Rural Health, Matsushima S. (Ed.) 22-28, Iowa City, 1997. (第21輯記載もれ)
- 10) Teranishi H., Kenda Y., Katoh T., Kasuya M., and Oura E.: Epidemiological features of pollinosis to Japanese cedar in rural and urban populations, In Proceedings of XIII International Congress of Agricultural Medicine and Rural Health, Matsushima S. (Ed.) 67-71, Iowa City, 1997. (第21輯記載もれ)

◆ 原 著

- 1) 斎藤真巳, 寺西秀豊: マイクロプレートリーダーを用いた簡便なスギ花粉アレルギー-Cry j I-の定量法の確立, 日林誌, 81: 318-324, 1999.
- 2) Yanagisawa S., Nagaki Y., Hiraki S., Kadoi C., Hayasaka S., and Teranishi H.: Seasonal allergic conjunctivitis induced by Japanese pear pollen. Jpn. J. Ophthalmol. 43: 240-242, 1999.
- 3) Natzir R., Teranishi H., Kitagawa M., and Kasuya M.: A novel protein of the Asian bee (*Apis cerara indica*) with an affinity to human α_1 -microglobulin. Allergology International, 48: 121-128, 1999.
- 4) Natzir R., Teranishi H., Kitagawa M., and Kasuya M.: Biochemical study on Asian bee venom (*Apis cerana indica* Fabricius). 富山県農村医学研究会誌, 28: 44-52, 1997. (第21輯記載もれ)

◆ 総 説

- 1) 加藤輝隆, 河野昭一, 鏡森定信: 大規模大気汚

染源と健康・植物影響—福井県芦原町の調査を中心に—. 北陸公衛誌, 25: 55-61, 1999.

- 2) 青島恵子: 水質汚染と生物への影響. 臨床検査, 43: 1223-1229, 1999.

◆ 学会報告

- 1) 加藤輝隆: フィンガープリント法による年輪画像記録の特徴と限界. 1998年度樹木年輪研究会, 1999, 1, 音威子府 (北海道).
- 2) 青島恵子: 職場における母性健康管理 (会長講演). 第11回富山県母性衛生学会, 1999, 2, 富山.
- 3) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 青島恵子, 加須屋實, 槻陽一郎: 出生順位と鼻アレルギー症状の関連. 第11回富山県母性衛生学会, 1999, 2, 富山.
- 4) 青島恵子, 蔡 雲清, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實: カドミウム汚染地域男性住民における骨量変化と尿管機能—10年間の追跡研究—. 第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 5) 蔡 雲清, 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實: カドミウム汚染地域男性住民における尿管障害の不可逆性. 第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 6) 加藤輝隆: スギの年輪幅にもとづく過去の降雪パターンの推定—里雪型と山雪型の検証—. 第110回日本林学大会, 1999, 4, 松山.
- 7) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實: 男子労働者における骨量と飲酒・喫煙・運動習慣. 第72回日本産業衛生学会, 1999, 5, 東京.
- 8) Teranishi H., Kenda Y., Katoh T., Kasuya M., and Oura E.: Possible role of climate change in the early rising of pollen scatter of Japanese Cedar (*Cryptomeria japonica*) in Japan. The 10th Global Warming International Conference & Expo, 1999, 5, Fujiyoshida.
- 9) 寺西秀豊: 花粉症における予防活動. 第11回日本アレルギー学会春季臨床大会, 1999, 5, 大阪.
- 10) 寺西秀豊, 関子光太郎, 庄司俊雄, 村上巧啓, 槻陽一郎, 福田 孜, 高柳 功, 土田 豊, 瀬尾 勉夫: 富山県医師会花粉症情報システムについて. 第11回花粉症研究会総会および学術集会, 1999, 5, 富山.
- 11) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 加須屋實, 槻陽一郎, 清水規矩雄, 中川稔夫: 富山県内学童の花粉症症状の特徴. 第11回花粉症研究会総会および学術集会, 1999, 5, 富山.
- 12) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 加須屋實: 地

- 球温暖化とスギ花粉症増加は関連しているか. 第40回社会医学研究会総会, 1999, 7, 金沢.
- 13) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 加須屋實: スギ花粉飛散状況の体積法による観察. 日本花粉学会第40回大会, 1999, 10, 名古屋.
 - 14) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實: 交替勤務の健康影響: 某企業の健康診断結果の解析. 第9回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会, 1999, 10, 仙台.
 - 15) 青島恵子, 加須屋實: 健康診断結果の活用: 肥満度別血液検査成績. 第42回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会, 1999, 10, 甲府.
 - 16) 加藤輝隆: 樹木年輪から見た過去の環境. 大気環境学会中部支部総会, 1999, 11, 富山.
 - 17) Katoh T.: Snow-fall pattern and tree-ring width of *Cryptomeria japonica* growing in Central Japan. International Symposium on Multifaceted Aspects of Tree Ring Analysis, 1999, 11, Lucknow, India.
 - 18) Katoh T.: Changes in tree-ring width of *Cryptomeria japonica* (Japanese Cedar), growing in Central Japan, with special reference to pollution levels of ambient air. International Symposium on Oxidant/Acidic Species and Forest Decline in East Asia, 1999, 11, Nagoya.
 - 19) Kasuya M.: Recent epidemiological studies on Itai-itai disease as a chronic cadmium poisoning in Japan. Keynote Lecture. The 3rd IAWQ Conference on Hazard Assessment and Control of Environmental Contaminants- ECOHAZARD '99, 1999, 12, Otsu.
- ◆ その他
- 1) 青島恵子: イタイイタイ病の現在 (インタビュー). 水情報, 19(5): 7-11, 1999.
 - 2) 青島恵子, 蔡雲清, 河西由美子, 渡辺希代, 山崎弘美, 北川豊子, 加須屋實: 骨量に及ぼすアルコール摂取の影響に関する臨床疫学的研究. 平成9年度研究助成報告書, 富山県高等教育振興財団, 17-23, 1999.
 - 3) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者・要観察解除者の認定・判定・死亡状況-1994年12月1日現在のまとめ-. 環境保健レポート, 62: 67-77, 1999.
 - 4) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者の臨床検査成績の推移 (第5報). 環境保健レポート, 62: 78-194, 1999.
 - 5) 加須屋實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 樊建軍, 萩野茂継: イタイイタイ病の尿・血液検査成績 (1990~1994). 環境保健レポート, 62: 195-209, 1999.
 - 6) 加須屋實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 萩野茂継: イタイイタイ病の骨X線像 (症例報告その1). 環境保健レポート, 62: 210-218, 1999.
 - 7) 加須屋實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 樊建軍, 萩野茂継: 1994年に認定されたイタイイタイ病の1例. 環境保健レポート, 62: 219-224, 1999.
 - 8) 青島恵子, 樊建軍, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實, 萩野茂継: カドミウム腎症における骨代謝異常-骨芽細胞機能マーカーによる評価-. 環境保健レポート, 63: 58-59, 1999.
 - 9) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者・要観察解除者の認定・判定・死亡状況-1995年12月5日現在のまとめ-. 環境保健レポート, 63: 87-98, 1999.
 - 10) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者の臨床検査成績の推移 (第6報). 環境保健レポート, 63: 99-228, 1999.
 - 11) 加須屋實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 樊建軍, 萩野茂継: イタイイタイ病の尿・血液検査成績 (1990~1995). 環境保健レポート, 63: 229-243, 1999.
 - 12) 青島恵子, 蔡雲清, 樊建軍, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋實, 萩野茂継: カドミウム腎症における骨代謝異常-尿管機能と骨代謝マーカー-. 環境保健レポート, 64: 66-68, 1999.
 - 13) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者・要観察解除者の認定・判定・死亡状況-1996年12月20日現在のまとめ-. 環境保健レポート, 64: 109-110, 1999.
 - 14) 加須屋實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継: イタイイタイ病認定患者・要観察者の臨床検査成績の推移 (第7報). 環境保健レポート, 64: 111-162, 1999.
 - 15) 加須屋實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 樊建軍, 萩野茂継: イタイイタイ病の尿・血液検査成績 (1990~1996). 環境保健レポート, 64: 163-

178, 1999.

- 16) 寺西秀豊：「日本列島の空中花粉と花粉症」岸川禮子先生の講演を聴いて。花粉症研究会会報，10：40-41，1999.
- 17) 寺西秀豊：環境情報としての花粉情報。花粉症研究会会報，10：43，1999.
- 18) 青島恵子：日本におけるカドミウム環境汚染と人体影響。富山県医師会平成10年度第3回産業保健特定科目専門研修会，1999，2，富山.
- 19) 青島恵子：これからの保健婦活動に期待すること。富山地域保健活動研究会，1999，6，富山.
- 20) 青島恵子：働く者にとっての健康管理。富山県労働安全衛生センター・安全衛生担当者研修会，1999，8，富山.
- 21) 青島恵子：健康診断結果の活用について。日本産業衛生学会北陸甲信越地方会衛生管理者研究会北陸部会研修会，1999，10，富山.
- 22) 青島恵子：地球環境と職場環境。富山産業保健推進センター・産業保健強調月間セミナー，1999，11，富山.
- 23) 加藤輝隆：年輪年代学的解析。平成10年度立山植生モニタリング調査成績報告書（立山植生研究会編），79-91，1999.
- 24) 加藤輝隆：奇妙な「実証試験」—魚津市東城地区ディスプレイ問題—，新川時論21，第13号，5-6，1999.
- 25) 加藤輝隆：樹木年輪が語る過去の環境の変化。日本科学者会議富山支部総会，1999，5，富山.
- 26) 加藤輝隆：年輪のなぞ。定塚小学校母親クラブ・こどもエコクラブ，1999，9，高岡.
- 27) 保健医学教室，公衆衛生学教室編：社会医学実習報告書第19集，1999.

法 医 学

教 授	滝 澤 久 夫
講 師	小 湊 慶 彦
助 手	島 田 一 郎
教 務 職 員	畑 由 紀 子

◆ 原 著

- 1) Kominato Y., Hata Y., Takizawa H., Tsuchiya T., Tsukada J., and Yamamoto F.: Expression of human histo-blood group ABO genes is dependent upon DNA methylation of the promoter region. *Journal of Biological Chemistry*, 274 : 37240-37250, 1999.
- 2) Yamamoto M., Kominato Y., and Yamamoto F.: Phage display cDNA cloning of protein with carbohydrate affinity. *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 255 : 194-199, 1999.

◆ 学 会 報 告

- 1) 小湊慶彦，畑 伸秀，松井健一，滝澤久夫：5'-RACE法を用いたABO式血液型遺伝子の転写開始点の検索。第83次日本法医学会総会，1999，4，広島.
- 2) 島田一郎，小湊慶彦，畑 伸秀，滝澤久夫：ABO式血液型遺伝子上流域におけるDNA多型について。第83次日本法医学会総会，1999，4，広島.
- 3) 藤倉 隆，平田公一，小湊慶彦，滝澤久夫：児童虐待（Neglect例）の法医病理学的検索。第83次日本法医学会総会，1999，4，広島.
- 4) 藤倉 隆，平田公一，小湊慶彦，滝澤久夫：児童虐待例の社会的背景。第83次日本法医学会総会，1999，4，広島.
- 5) Kominato Y., Hata Y., Takizawa H.: Transcriptional regulation of the human histo-blood group ABO genes. *International Association of Forensic Sciences 15th Triennial meeting*, 1999, August, Los Angeles.
- 6) 島田一郎，小湊慶彦，畑由紀子，滝澤久夫：ABO式血液型A₂（ABO*R101/ABO*0201）遺伝子上流域におけるDNA多型について。第21回日本法医学会中部地方会，1999，10，松本.
- 7) 畑 伸秀，齊藤善蔵，滝澤久夫：富山県における自殺背景が病苦等とされた調査検討，第39回全国国保地域医療学会，1999，9，岐阜.

◆ そ の 他

- 1) Gen Bank登録（U22302）.